



開經のことば

無上甚深微妙法
み法はふかく
妙にして

百千万劫難遭遇
よろずの時にも
あいがたし

我今見聞得受持
われ持ちえて
見聞す

願解如来真實義
いざや真實義を
身につけん。

研修所施設の建設に際して浄財のお願い

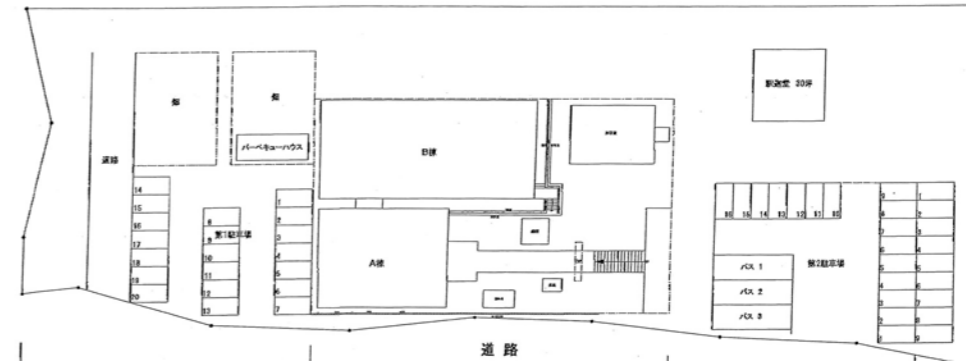
拝啓 皆様方ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より当寺院「天光寺」の活動に、ご理解ご支援を賜り誠にありがとうございます。
お蔭さまをもちまして、年間5,000人以上の方々当寺院へ来山いただけるようになりました。
これも偏に皆様のお蔭と心より感謝いたしております。

「天光寺」は西多摩郡檜原村の地に寺院を建立以来、既成仏教のような儀式は行わず、仏教本来の教えを学び、身に付けるための修行道場として活動して参りました。
心と社会が病む今日の世情では、人々の多くは人生の目的が判らず、生きる希望が持てず、心や精神が空白に陥り、不安と混迷の中で生活しております。
当寺院では、現代社会のこの「心の迷い」(ひきともり、不登校、自殺願望、うつ病、積極性が無いなど)を解決し、「本来在るべき姿を取り戻す」ための修行の場を提供し、全国各地からの多くの方々、「心の迷い」を改善するために体験修行に訪れます。また、企業の社員研修などにもご活用いただいております。

さて、これからより多くの方々を受け入れるためには、現施設では限界が在り、相応なる施設が必要となります。皆様方の尊い思いを結集し、新たな研修道場を建設いたす所存でございます。つきましては、皆様方の尊い浄財を一本の柱、一枚の瓦、一つの石へ、ご寄付いただきたく、宜しくお願い申し上げます。

なお、寄付金額につきましては、別紙のとおりといたし、ご寄付いただきました方々へは、ご氏名を、公刊物などでの公開と石碑への刻銘をさせていただき所存でございます。

各位様に於かれましては、何卒ご賢察の上、ご支援ご協力賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。



〒190-0214 東京都西多摩郡檜原村字本宿801-2

TEL: 042-598-3133 FAX: 042-598-3177

URL | <http://www.tenkouji.jp/> MAIL | info@tenkouji.jp

発行日 平成 24 年 11 月 5 日 発行人 天光寺 住職 高尾聖賢

夏休みに多数の方が修行に参加されました。

7月から8月にかけて大勢の方が修行に来られました。夏休みを利用して長期で参加の学生の方や、週末を利用して日帰りや1泊、2泊で参加される方など、多くの方が修行に参加されました。



念誦の種類

念誦は本連、半連がある。
本連は一〇八個の玉で、半連は五四個がある。
念誦は本連が正式な念誦ある。
一〇八個が人間の煩悩を象徴するからである。
真言を唱えながらこれを回ることから一〇八の煩悩を消すからである。

念誦には母(親)玉と緒留(おどめ)があり、五四個の玉が連なっている。
母玉のことを達磨(たらま)と言い、阿弥陀如来の説法を意味している。

五四個の玉を本有門と言う。
人間が本来持っている先天的な悟りである。
本有門のことを本覚とも言う。

一方の五四個の玉を修生門と言う。
修生門とは修行で得る五四段階の修行の悟りのことを言う。
修生門のことを始覚とも言う。

天光寺 新年大護摩供養のご案内

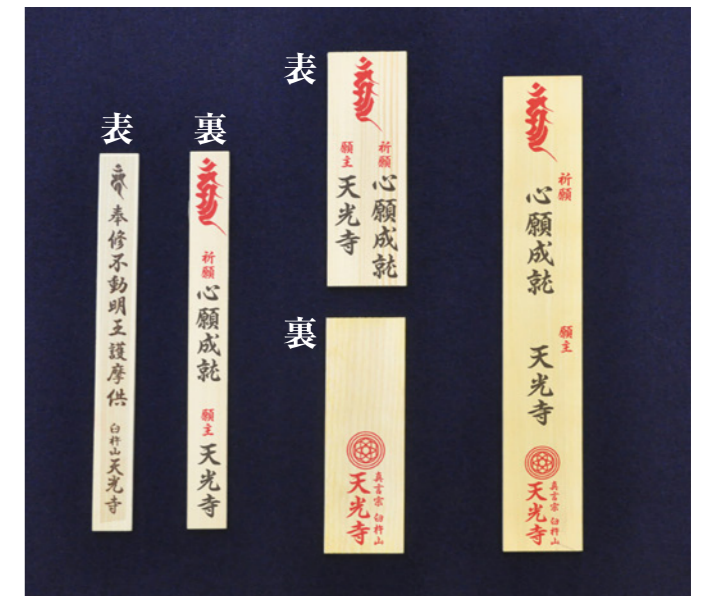
厳寒の頃、本年も残り僅かとなりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。
さて、天光寺では、行く年の煩悩、災厄とお祓い、来る年の成就を願い、新年大護摩供養を修行いたします。

【新年大護摩供養・修行】

お護摩は密教独自の秘法であり、本尊大日如来の教令転身である不動明王の善導により、仏様の御心と私達の信じる心が一体となり私たちの心願成就に絶大な効果を発揮します。
「護摩木」を焚くことで煩悩を焼き、心願を仏様にお伝えすることができます。
また、護摩供養で祈願・開眼した護摩札は不動明王の分身であり、常に私たちをお護り下さいます。



護摩札(大) 護摩札



護摩木A 護摩木B 護摩木(大)

【新年大護摩供養】

護摩木に、あなたの願い事をお書きください。
この護摩木を護摩炊きすることにより、あなたの願いが叶うでしょう。
護摩木は、お一人様何本でもかまいません。
護摩札はお持ち帰り頂き、ご自宅で保管して頂きます。

天光寺へのアクセス

車の場合

檜原村役場の先のT字路を左折、約3km程、7分程直進後、笹平バス停を左手に白い看板を斜め左方向にのぼり旗に沿って500m直進

電車・バスの場合

JR武蔵五日市駅より数馬行きで約30分、『笹平』で下車、徒歩10分